

<第4号>

仙台市青葉区堤通
雨宮町1番1号
(〒981-8555)
東北大学農学部
国際交流委員会
No.4 Nov. 1998

緑のかけはし

International Communication for Division of Agriculture (ICDA)



かがいりゅうがく すば 海外留学の素晴らしさ



とうほくだいがくのうがくぶちょう
東北大学農学部長
みず の しげ き
水 野 重 樹

1998年11月1日現在、東北大学には64の国から798名の留学生在学しており、その中の約70%が大学院生です。農学部には14の国から48名の留学生在学しています。皆さんは、遠く故国を離れてホームシックになったり、言葉がうまく通じない、経済的に苦しい、街なかで心ない一部の人達から不愉快な振舞いをされるなど、海外留学に伴う辛い経験もお有りと思いますが、仙台に暮らし、東北大学に学ぶことのプラスの面を前向きに考えて、勉強、研究の成果をあげ、多くの友人をつくり、楽しい思い出となる留学生活を送って下さるようお願いしています。

私自身は学生として留学の経験はありませんが、大学院を出てから、ポストドクトラルフェローやリサーチアソシエートとしてアメリカとイギリスで合計10年間を過ごしました。その間、学部や大学院の学生として留学している日本人に何人も会いましたが、私との決定的な違いは彼らが英語の理解力や会話の面ではるかにすぐれていることでした。講義を聴き、レポートを書き、ディスカッションをすることを毎日の大学生活の中でほぼ強制的に強いられているためだと思います。その結果、彼らには多くの親友が出来、先生にも自分の考えを十分に述べられることで、自信が生まれ、自分自身を国際的なレベルで評価出来るようになり、自分の目指す目標も明確になるのだと思います。

私の研究室からも大学院を出て、海外の研究室で活躍している人たちがいますが、皆、日本に居る時より素晴らしい研究をしています。日本の研究環境や指導者の実力がそんなに劣っているとは思わないのですが、海外で生活する気持ちの高揚が、その人の研究意欲と研究への集中力を高めるためだと思います。私の場合は10年間で3つの研究室を移り歩きましたが、それぞれ違った内容の研究が出来たこと、それぞれ個性や研究の進め方の違う先生に接したことは、その後の私の留学生活にとって大変有益でした。

皆さんも、どうぞ意欲的に多くのことを学び、多くの先生や友人に巡り会い、それらを活かすことによって、将来、皆さん独自の研究や仕事を大きく発展させていただきたいと思います。

ニ ユ ー エ イ ス 紹 介

農学部には、平成10年11月現在、51名の外国人留学生（「留学」以外の在留資格の者を含む）が在籍しています。ここでは、平成9年10月以降に入学した留学生を紹介します。

- 事項
- 1 国籍
 - 2 在籍身分
 - 3 研究テーマ
 - 4 出身学校
 - 5 入学年月
 - 6 趣味・特技
 - 7 自己紹介

Park Choul Ji
朴 哲 志

- 1 韓国
- 2 博士前期課程1年
- 3 沿岸生物生産システム学
- 4 江陵大学
- 5 平成9年10月（入学時は学部研究生）
- 6 熱帯魚飼育
- 7 韓国から留学しており、現在、海洋生物資源教育研究センターの沿岸生物生産システム学のM1で在学しております。私は海がすきで、今、海の近くに部屋があり、毎日海とともに生活しているので楽しいです。

Andi Novianto

- 1 インドネシア
- 2 博士後期課程1年
- 3 食糧需給管理学
- 4 Ball State Univ.
- 5 平成9年10月（入学時は大学院研究生）
- 6 私は、インドネシアの国家開発計画庁の農林局に10年間勤務しており、特に食糧経済を専門としております。このたびの留学で、インドネシアの食糧政策についての方策を勉強した

いと考えております。

Qin Yan Chun
秦 燕 春

- 1 中国
- 2 大学院科目等履修生
- 4 中国黒竜江商学院
- 5 平成9年10月
- 6 文化体験、交流
- 7 日本に家族滞在して4年過ぎました。日本の文化に対する理解は益々深くなってきました。この上、様々な分野の進んだ研究と科学技術に魅了されました。人間と食糧、人間と環境との関係はとても大切だと思って、これからの勉強が楽しみです。

Nikaido Mitsuru Alexandre
二階堂 充 アレシヤンドレ

- 1 ブラジル
- 2 博士前期課程1年
- 3 食糧需給管理学
- 4 エザン経営大学
- 5 平成9年11月（入学時は学部研究生）
- 6 日本語と英語のエッセイを読むこと、コンピューター
- 7 私はブラジルから参りました。住んでいたところは仙台とすごく似ております。趣味はコンピューターと読書です。これからも日本でたくさん友達をつくりたいと思っています。

Xuan Ying Ji
玄 英 姫

- 1 中国
- 2 学部研究生
- 3 脂肪酸の疾病予防効果
- 4 延辺農学院
- 5 平成10年3月
- 6 旅行、生け花
- 7 中国から来た玄英姫と申します。来たばかり

ですが、きれいで静かな仙台と日本人の親切さを感じております。これから藤本先生の下で食品機能学の皆様と一緒に勉強することができ、ほんとうにうれしいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

Liu Jun
劉 珺

- 1 中国
- 2 学部研究生
- 3 農産物の流通及び加工に関する研究
- 4 宝鶏大学
- 5 平成10年4月
- 6 卓球、サッカー、音楽
- 7 これから、農産物の流通に関する研究をテーマとして勉強をはじめます。
みなさん、よろしくお願ひいたします。

Ok Jung Ho
玉 正 浩

- 1 韓国
- 2 学部研究生
- 3 脂肪酸の酸素シグナリング制御機能の細胞生化学的解析
- 4 東亜大学校
- 5 平成10年4月
- 6 旅行
- 7 私は韓国から留学に来た玉正浩です。趣味は旅行で日本文化について大変興味があります。今、妻と一緒に住んでいますが、留学期間中に勉強も一生懸命したいし、いろいろな思い出を作りたいです。頑張ります。

Zhang Fu Shen
張 付 申

- 1 中国
- 2 大学院研究生
- 3 農業活動による環境汚染及びその対策
- 4 西北農業大学
- 5 平成10年4月
- 6 武術、登山
- 7 1987年、中国江南農業大学を卒業。2年間の農業技術普及に関する仕事の後、中国西北

のうきょうだいがくどじょう のうげいかがくお にゅうがく ねん そつぎょう
農業大学と農芸化学部に入学。92年に卒業し、同年、河南農業科学院に通勤、JICAのプロジェクトに参加した。
1998年、文部省国費留学生として東北大学に来ました。

Morikawa Kendi Claudio
森川 健治 クラウジオ

- 1 ブラジル
- 2 大学院研究生
- 3 酸性土壌におけるAI過剰障害とその軽減法
- 4 サン・パウロ州立総合大学
- 5 平成10年4月
- 6 サッカー
- 7 日本語を勉強しています。日本の文化に大変興味があります。大学時代に私の夢は日本に留学することでした。今、その夢が実現してとても充実しています。これから、日本でいろいろなことを学びたいと思っています。

Heidary Alizadeh Babak

- 1 イラン
- 2 大学院研究生
- 3 天然生物制御物質に関する生物有機化学的研究
- 4 Shahid Chamran Univ.
- 5 平成10年6月
- 6 水泳
- 7 イランの国立の植物病虫害研究所で農薬の分析の仕事を3年間行った後、博士号取得のために日本へ来ました。今は有機合成に興味をもっており、東北大学での研究を通じて優秀な研究者になりたいと思っています。

Wu En
烏 恩

- 1 中国
- 2 学部研究生
- 3 退化草原の植生修復に関する研究
- 4 内モンゴル農牧学院
- 5 平成10年10月
- 6 音楽、相撲

7 私は内蒙古農牧学院で生物統計学の先生を担当しており、モンゴル語と中国語で講義をしています。退化、砂漠化した内蒙古大草原を修復するため日本に参りました。日本の演歌大好き。専門を勉強するほか、友好交流にも興味深い。

Nguyen Anh Ti Van

- 1 ビエトナム
- 2 学部研究生
- 3 ブドウ球菌の産生する血球壊毒素に関する研究
- 4 ハノイ薬科大学
- 5 平成10年10月
- 6 音楽鑑賞、映画鑑賞、新聞を読むこと
- 7 私はハノイ薬科大学を昨年卒業し、1年間母校の微生物研究室にいました。その間、日本語も勉強しましたが、まだうまくありません。微生物についてもっと詳しく勉強していきたいと思います。よろしく願います。

Li Chang Mo
李昌模

- 1 中国
- 2 学部研究生
- 3 油脂の構造が機能が与える影響
- 4 天津軽工業学院
- 5 平成10年10月
- 7 私は中国からの留学生です。自己の知識レベルを高くするために、先進な技術がある国、日本に来ました。皆様、どうぞよろしく願います。

Park Si Bum
朴時範

- 1 韓国
- 2 特別聴講学生 (学部)
- 4 全北大学校 (在籍中)
- 5 平成10年10月
- 6 テニス
- 7 私は韓国から来た朴時範と申します。今年4年生で、東北大学に交換留学で来ています。

趣味はテニスと、パンを作るのが好きです。いろいろなことを経験するのが大好きです。

Li Lian Qian
李良謙

- 1 中国
- 2 学部科目等履修生
- 3 食糧貿易に関する研究
- 4 中国科技経営管理大学
- 5 平成10年10月
- 6 スポーツ、音楽
- 7 みんなで頑張りましょう。友達になりましょう。心に残る思い出を創りましょう。

Howlader MD. Zakir Hossain

- 1 バングラデシュ
- 2 大学院研究生
- 3 血漿酸化脂質によるLCAT活性の修飾機構
- 4 ダッカ大学
- 5 平成10年10月
- 6 読書、音楽鑑賞
- 7 10月に栄養学講座に来ました。ダッカ大学生物科学部生化学の講師です。三条町にある留学生会館に住んでいます。仙台の街はとても気に入っています。このような機会を与えてくださった東北大学当局に感謝します。

Liu Qiong
劉琼

- 1 中国
- 2 大学院研究生
- 3 肥満の分子生物学的研究
- 4 中国北京大学
- 5 平成10年10月
- 7 私は旅行が好きです。もし機会があれば、日本のいろいろなところに行きたいです。日本の文化と歴史を深く理解したいです。

Park Mi Suk
朴美淑

- 1 韓国
- 2 特別研究学生
- 3 糖質加水分解酵素の蛋白質工学的研究

- 4 全北大学校 (在籍中)
- 5 平成10年10月
- 6 音楽鑑賞、旅行
- 7 これから、分子酵素学研究室で1年間勉強します。1年間でいろんな経験をして帰ろうと思えます (旅行、実験、友達付き合いなど)。私の人生の目標は、いつも幸せな生活をするということです。

Wu Yan Ling
呉 艶 玲

- 1 中国
- 2 学部研究生
- 3 新食品素材の生理機能に関する研究
- 4 チチハル医学専門学校
- 5 平成10年11月

● 学術交流協定締結大学との交流
(平成9年10月～)

ハンガリー国、園芸食品工科大学

平成10年6月

ポイス名誉教授外1名が、共同研究で農学部及び農学部附属農場を表敬訪問。

平成10年8月
三枝教授、共同研究で園芸食品工科大学を表敬訪問。

平成10年9月
木村修一元農学部長外1名の本学関係者が、国際微量要素会議で園芸食品工科大学を表敬訪問。

● 農学部の外国人留学生在籍状況

(平成10年11月現在)

平成10年11月現在、本学部に在籍する外国人留学生 (在留資格が「留学」以外の者も含む) は、14カ国51名 (うち女子14名) である。これを出身国別にみると、アジア地域の留学生が38名 (全体の76%) を占め、なかでも中国 (台湾を含む) 21名 (同41%)、韓国8名 (同16%) と多い。この他の国・地域と留学生数は次のとおりである。

インドネシア4名、ブラジル3名、ガーナ、バンラデシュ、ベトナム、マレーシア各2名、アルバニア、イラン、ウズベキスタン、チリ、ハンガリー各1名

きょうかん りゅうがくせいたいけんき
教官の留学体験記

とうほくだいがくのうがくぶじよしゅ かた やま さと し
東北大学農学部助手 片山知史

私は、97年3月から12月にかけて、文部省の在外研究員として、ハワイ大学に留学してきました。ハワイ大学は学生院生約20000人、教職員約8500人で構成されており、丁度東北大学 (学生院生約17000人、教職員約8300人) と同じ規模の大学です。私がお世話になったのは、School of Ocean and Earth Science and Technologyの中の、Hawaii Institute of Geophysics and planetology という研究所です。この留学の課題は、海と川を回遊する魚の環境履歴 (塩分や水温など) を、骨に含まれているストロンチウム (Sr) 濃度を計測することによって推定するというものでした。たった10ヶ月の留学なのでフィールド研究は無理だと考え、サンプルを持ってい

て実験するという課題にしました。そのため時間に余裕があり、仙台に居るときには忙しくてできなかった、専門書を読んだり、文献を読んで整理したりすることができました。図書館が土日を含めて朝から夜中まで開いているというのも、勉強するにはとても良い環境でした。

ハワイ良いとこ一度はおいで

ハワイ大学のメインのキャンパスは、オアフ島ホノルルにありワイキキのそばです。ワイキキは観光客ばかりで物価が高いのですが、その他の場所は閑静な住宅地が多く、非常に過ごしやすいです。スーパーのダイエーもあり、欲しい物は何でも手に入

ります。また、ワイキキ以外では比較的治安も良く安心して暮らせます。

ハワイといえば海。ビーチは水自体はあまりきれいではありませんが、気軽にマリンスポーツをすることができます。私の場合は教えてくれる人がいなかったのサーフィンをすることはできませんでしたが、ボディボード（ブギーボード）を楽しんでいました。とはいえ、マリンスポーツには安全なものはありませんから、気を付けなければなりません。私も何度か怪我をしました。スノーケルで潜れば簡単にカメに会えます。あとは、ビーチバレー。ビールを飲みながら一日中バレーをするという夢のような生活ができます。

日米の学生気質はやっぱり違った

ハワイ大に行ってみて、大学生、院生の気質が日本とは大きく異なっていることがわかりました。日本の学生に比べてハワイ大の学生は以下のような点が違います。

- よく勉強する。テキストや関係書をよく読み込んでいます。
- あまり実験はしない（ハワイ大だけか?）。目的を達成するために必要最小限の実験しかしないように思えました。しかし、関連したことをよく勉強しているため、少ないデータで論文を書き上げてしまいます（いいことだとは思いませんが...）。逆に言えば、日本人学生はデータは多いのに論文が書けないと

言えるでしょう。

- 教官とよくディスカッションする。小さいころからのディベート教育の影響もあるでしょう。なるべく口を開かないようにする日本の学生とは大違いです。
- 必ず恋人がいる。何故でしょうか？
- 入れ墨をする。地べたに座る。髭を伸ばす。（最近では日本でも多いですね。）
- 同性愛者のサークルがある...

一見すると皆非常に楽しそうに大学生を送っているようですが、精神的に落ち込んでしまったり不登校になってしまう学生は少なくありません。日本でも増えていますね。競争的環境になればなるほど、それに対応できなくなる人が出てくるのはどこでも同じなのでしょう。

おわりに

出発前に植物栄養学研究室の牧野先生から「片山君は家族を連れていくの?」と聞かれ、「家族を連れていくと時間も英語の勉強にもならないし、仕事の時間も削ることになるし...」と答えたところ、「どうして家族と思い出を共有しないのかい?」と言われてしまいました。実際家内の仕事の関係でハワイに家族が来たのは1ヶ月半程度でしたが、牧野先生のおっしゃったとおり、貴重な時間を一緒に過ごせたと思っています。皆さんも、ご家族と有意義な時間をお過ごしください。日本で家族を作るのもいいですね。

